

バンドルされた包括プロファイルを使用して MacOS上のセキュアクライアントの導入を自動化

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[可視VPN AnyConnectモジュールを備えたUmbrellaモジュール](#)

[スタンドアロンアプリケーションとしてのUmbrellaモジュール](#)

[スクリプト形式のインストール](#)

[検証](#)

はじめに

このドキュメントでは、macOSコンピュータにCisco Secure Client Umbrellaモジュールを導入する方法、またはスタンドアロンアプリケーションとしてUmbrellaモジュールをインストールする方法について説明します。

前提条件

- Umbrellaダッシュボードへのアクセス
- Ciscoソフトウェアの[Cisco Secure Client 5ダウンロード](#)ページへのアクセス。
- AnyConnect Umbrellaモジュールプロファイル(orginfo.json)。
- macOSでサポートされるプラットフォーム：macOS 13、macOS 12、11.2、10.15、および10.14（すべて64ビット）。
- (オプションですが、強くお勧めします)包括ルート証明書がインストールされています。これは、DNS/SWGポリシーによってブロックされているサイトを訪問したときにテストセクションによって使用されます。ルート証明書のインストールの詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

可視VPN AnyConnectモジュールを備えたUmbrellaモジュール

1. [Software Download](#)ページから、適切なSecure Client package for macOSをダウンロードします。次の図は、手動/調整インストールのダウンロードを示しています。

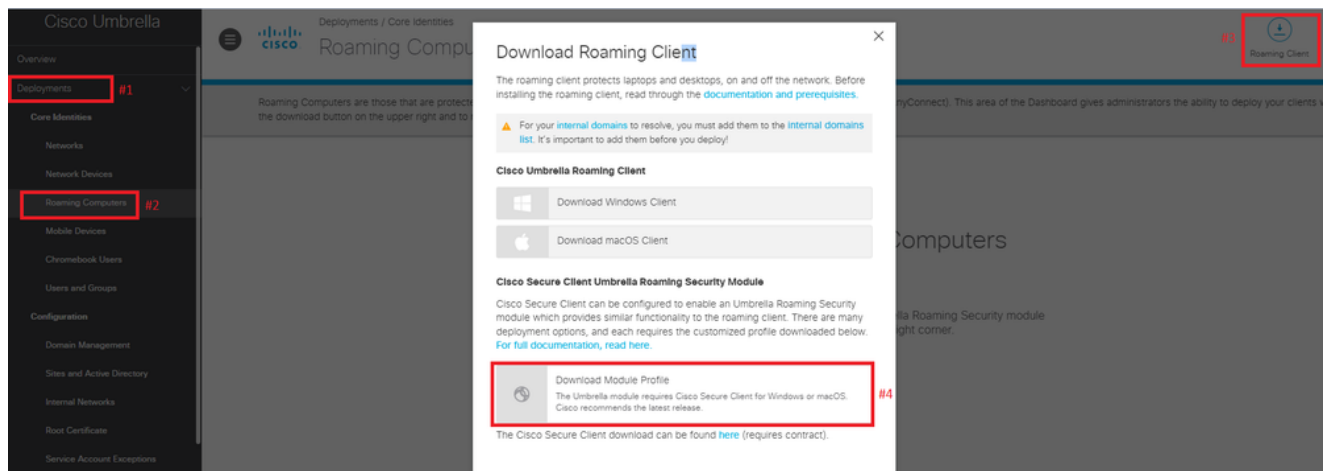
AnyConnect Pre-Deployment Package (Mac OS)
cisco-secure-client-macos-5.0.00556-predeploy-k9.dmg
[Advisories](#) 

29-Aug-2022

68.78 MB



2. ダッシュボードからOrgInfo.jsonファイルをダウンロードします。このファイルはダッシュボードに固有であるため、自分の組織ID以外の他の組織IDと共有されていないことを確認してください。



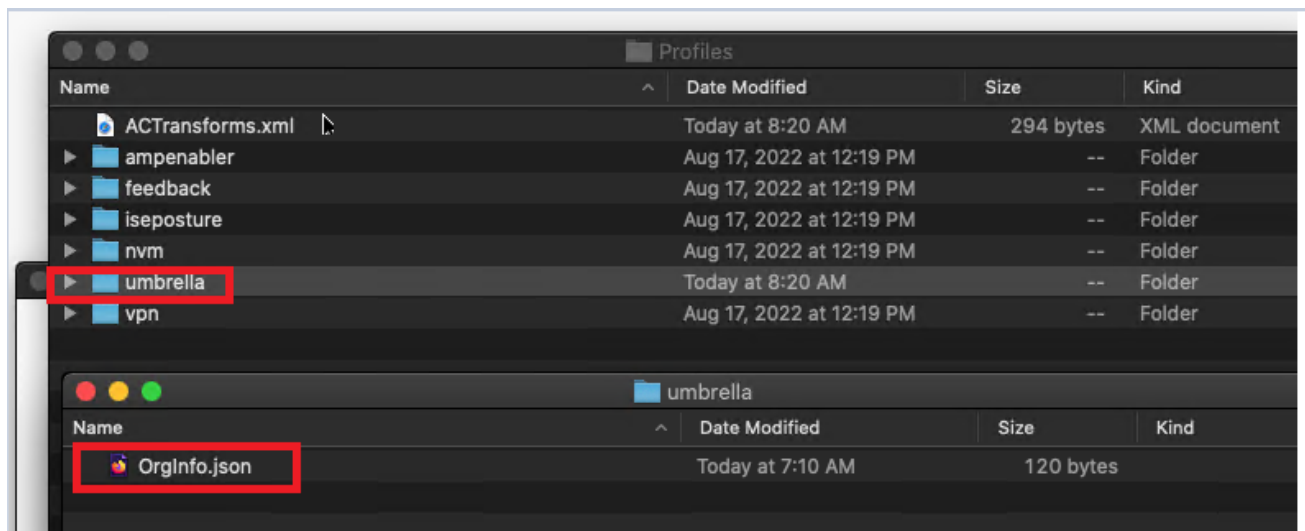
10774086449556

3. 次のように、Disk Utilityを実行するか、ターミナルアプリケーションを使用して、インストーライメージを読み取り/書き込みに変更します。hdiutil convert <source dmg> -format UDRW -o <output dmg>

```
user@macOS-Jbrenesm Desktop % hdiutil convert cisco-secure-client-macos-5.0.00556-predeploy-k9.dmg -format UDRW -o cisco-umbrella.dmg
Reading Protective Master Boot Record (MBR : 0)...
Reading GPT Header (Primary GPT Header : 1)...
Reading GPT Partition Data (Primary GPT Table : 2)...
Reading (Apple_Free : 3)...
Reading disk image (Apple_HFS : 4)...
.....
Reading (Apple_Free : 5)...
Reading GPT Partition Data (Backup GPT Table : 6)...
.....
Reading GPT Header (Backup GPT Header : 7)...
.....
Elapsed Time: 898.924ms
Speed: 152.4Mbytes/sec
Savings: 0.0%
created: /Users/user/Desktop/cisco-umbrella.dmg
```

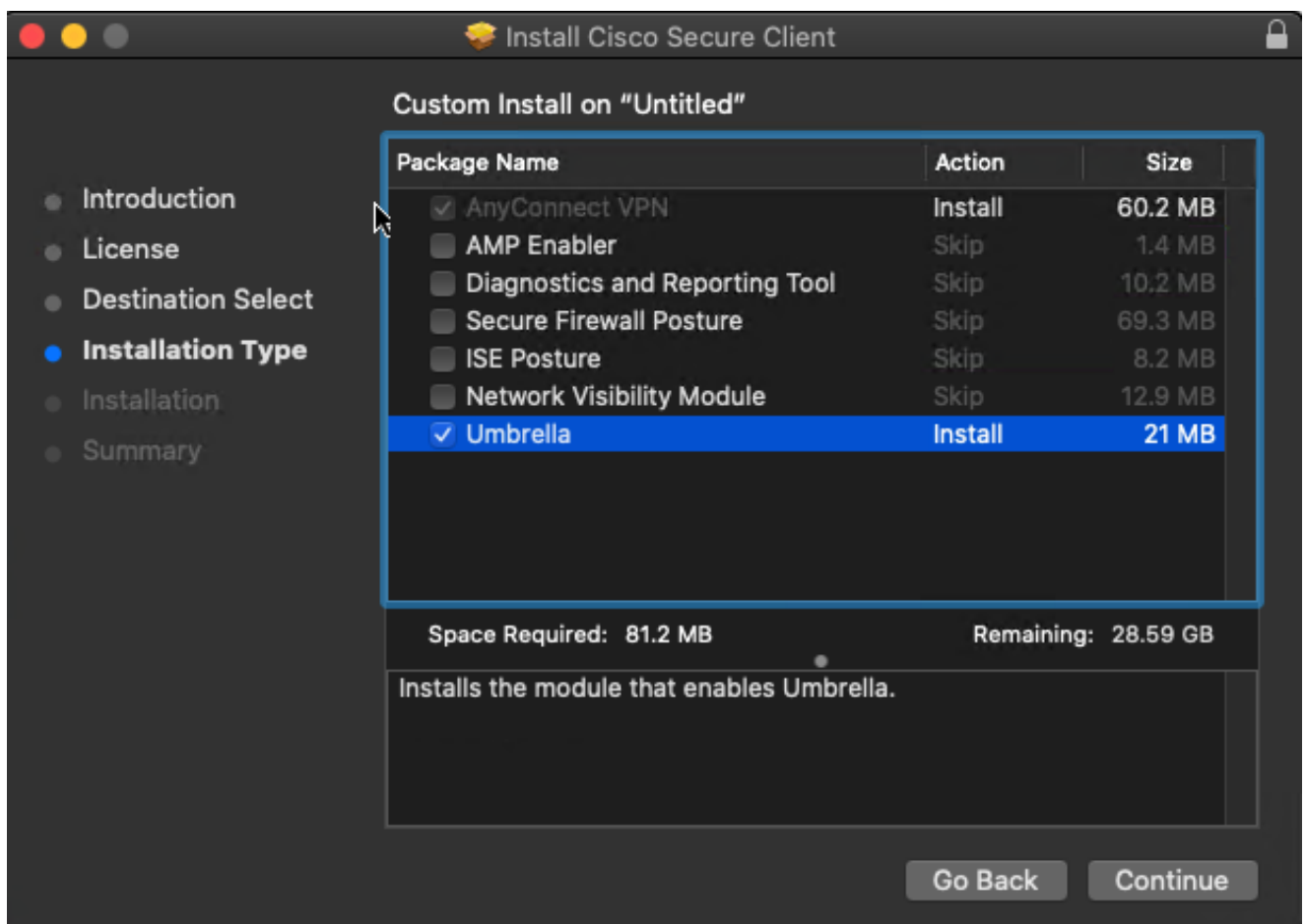
10774087233812

4. 新しく変換されたdmgファイルを開いてProfilesフォルダを開くには、Profilesをクリックし、次にUmbrellaフォルダをクリックして、ダッシュボードからダウンロードしたOrgInfo.jsonファイルをドロップします。



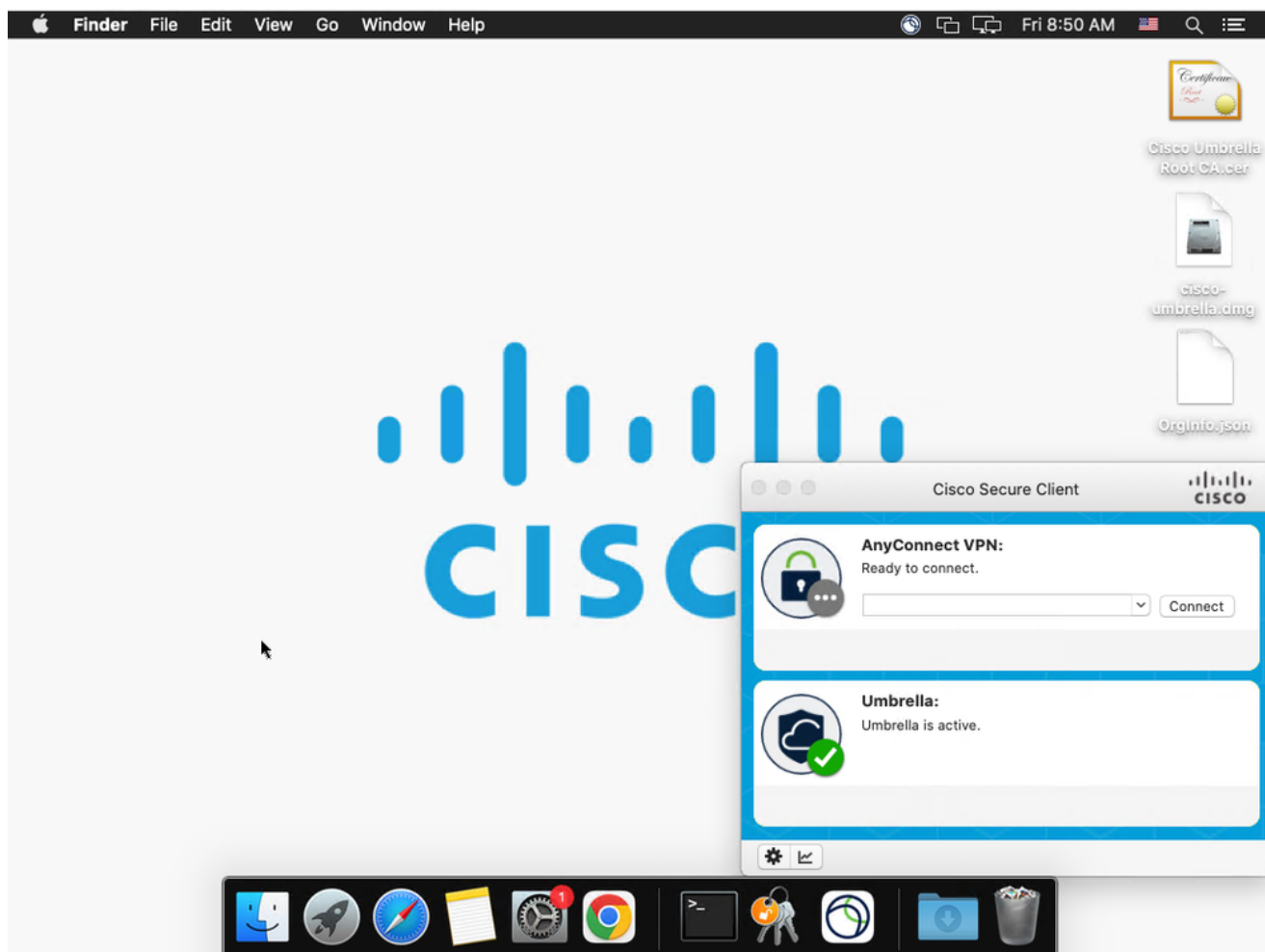
10774134765460

5. Umbrellaモジュールのインストールを続行します。



10774089484052

6. インストールが完了すると、AnyConnect VPNとUmbrella Roamingセキュリティの2つのモジュールが表示されます。



10774090397332



注:OrgInfo.jsonファイルを手動でコンピュータの/opt/cisco/secureclient/umbrellaにドロップすることもできます。

スタンドアロンアプリケーションとしてのUmbrellaモジュール

1. [ソフトウェアのダウンロード](#) ページから、macOSに適したSecure Clientパッケージをダウンロードします。次のスクリーンショットは、手動/調整インストールのダウンロードを示しています。

AnyConnect Pre-Deployment Package (Mac OS)
cisco-secure-client-macos-5.0.00556-predeploy-k9.dmg
[Advisories](#) 

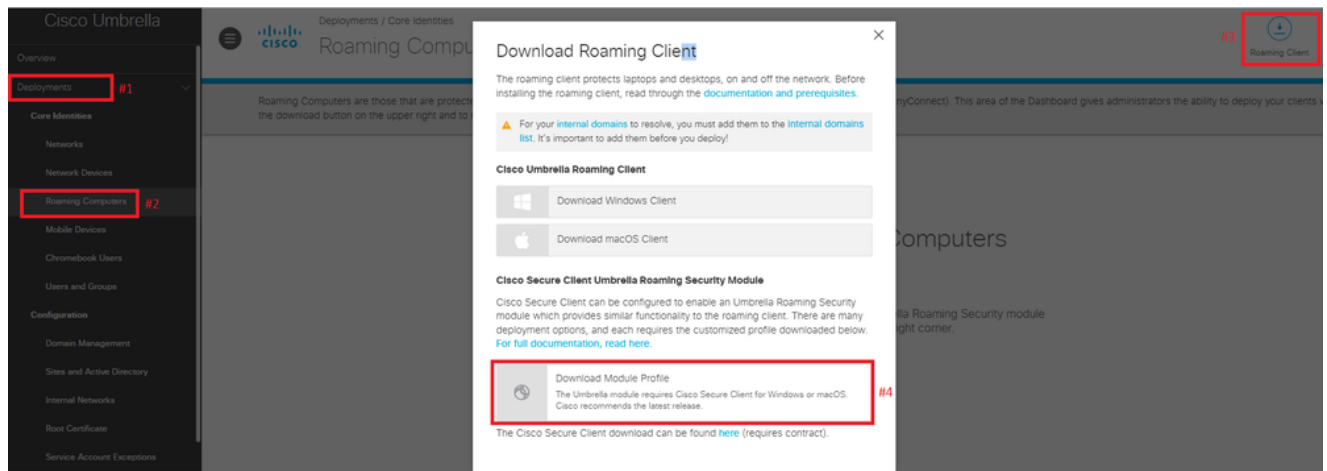
29-Aug-2022

68.78 MB



10774084870420

2. ダッシュボードからOrgInfo.jsonファイルをダウンロードします。このファイルはダッシュボードに固有であるため、自分の組織ID以外の他の組織IDで共有されていないことを確認してください。



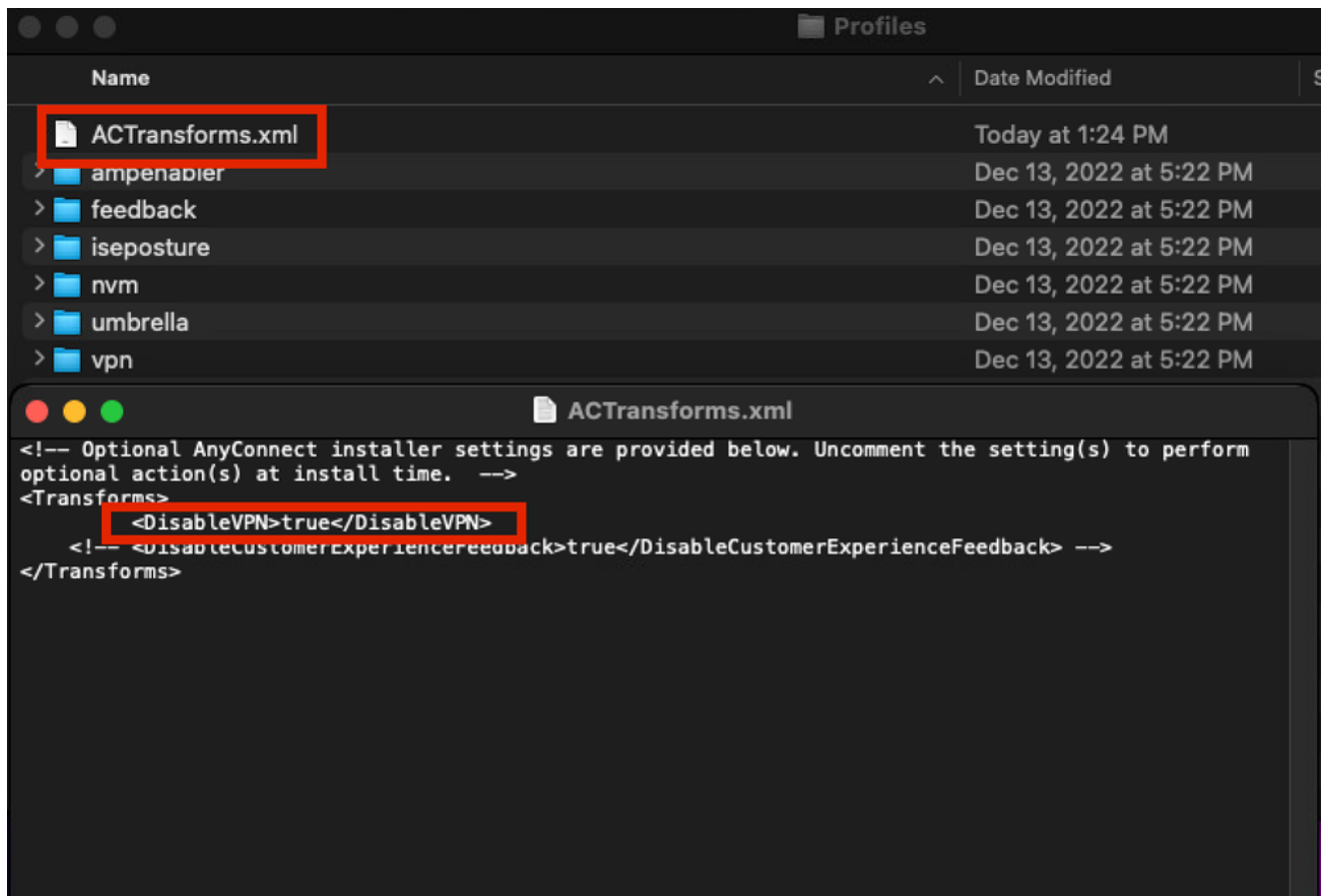
10774086449556

3. 次のように、Disk Utilityを実行するか、ターミナルアプリケーションを使用して、インストーライメージを読み取り/書き込みに変更します。hdiutil convert <source dmg> -format UDRW -o <output dmg>

```
user@macOS-Jbrenesm Desktop % hdiutil convert cisco-secure-client-macos-5.0.00556-predeploy-k9.dmg -format UDRW -o cisco-umbrella.dmg
Reading Protective Master Boot Record (MBR : 0)...
Reading GPT Header (Primary GPT Header : 1)...
Reading GPT Partition Data (Primary GPT Table : 2)...
Reading (Apple_Free : 3)...
Reading disk image (Apple_HFS : 4)...
.....
Reading (Apple_Free : 5)...
Reading GPT Partition Data (Backup GPT Table : 6)...
.....
Reading GPT Header (Backup GPT Header : 7)...
.....
Elapsed Time: 898.924ms
Speed: 152.4Mbytes/sec
Savings: 0.0%
created: /Users/user/Desktop/cisco-umbrella.dmg
```

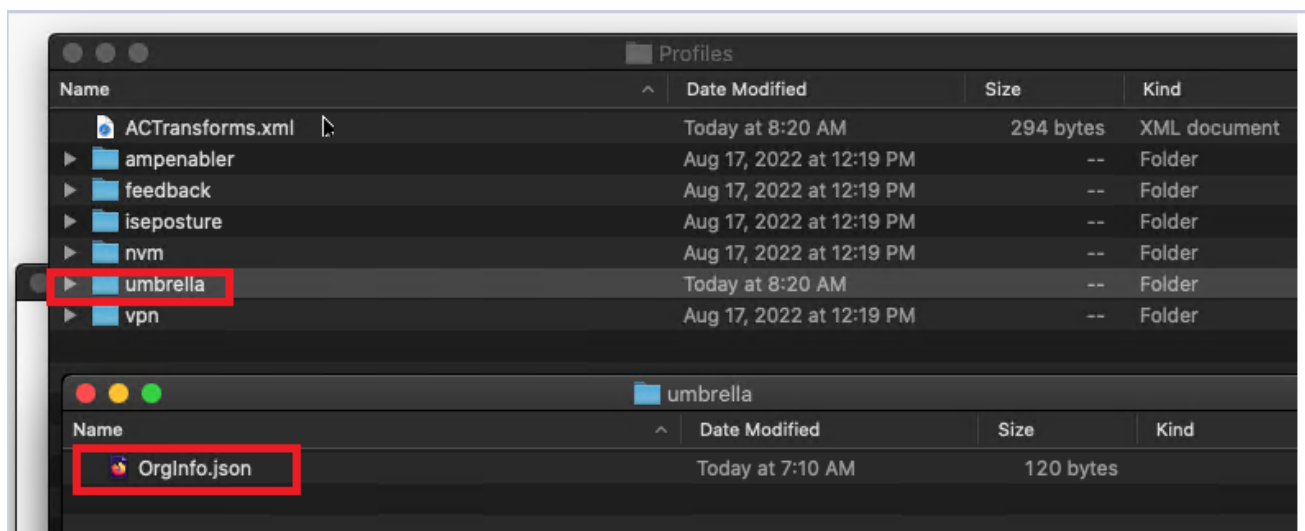
10774087233812

4. 新しく変換されたdmgファイルを開き、Profilesフォルダを開きます。ここでは、次の2つの手順を実行する必要があります。
 - a. ACTransforms.xmlを編集し、<DisableVPN>がtrueに設定されていることと、コメントが外されていることを確認します。



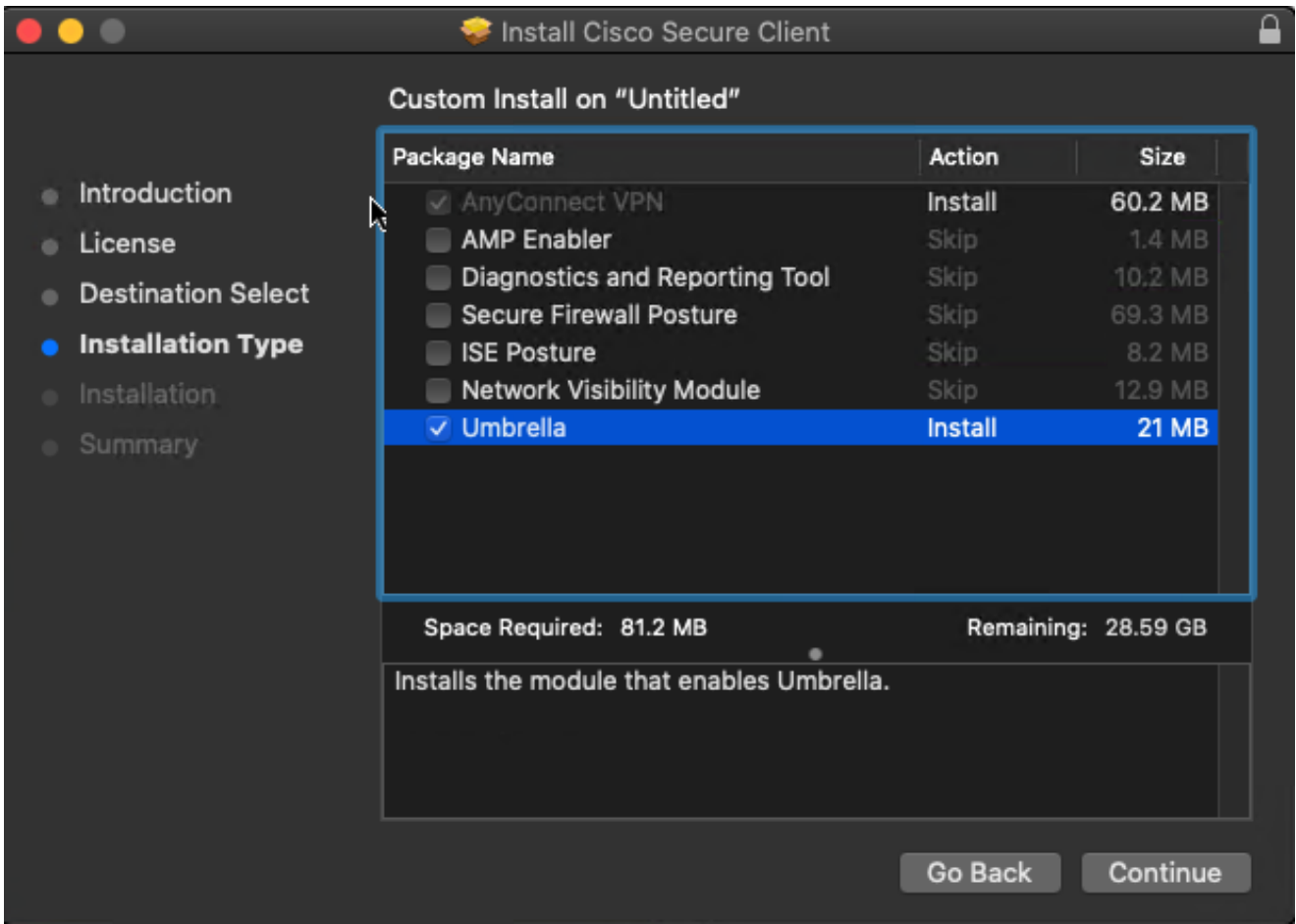
14562544855956

b. Profilesをクリックし、次にUmbrellaフォルダをクリックして、ダッシュボードからダウンロードしたばかりのOrgInfo.jsonファイルをドロップします。



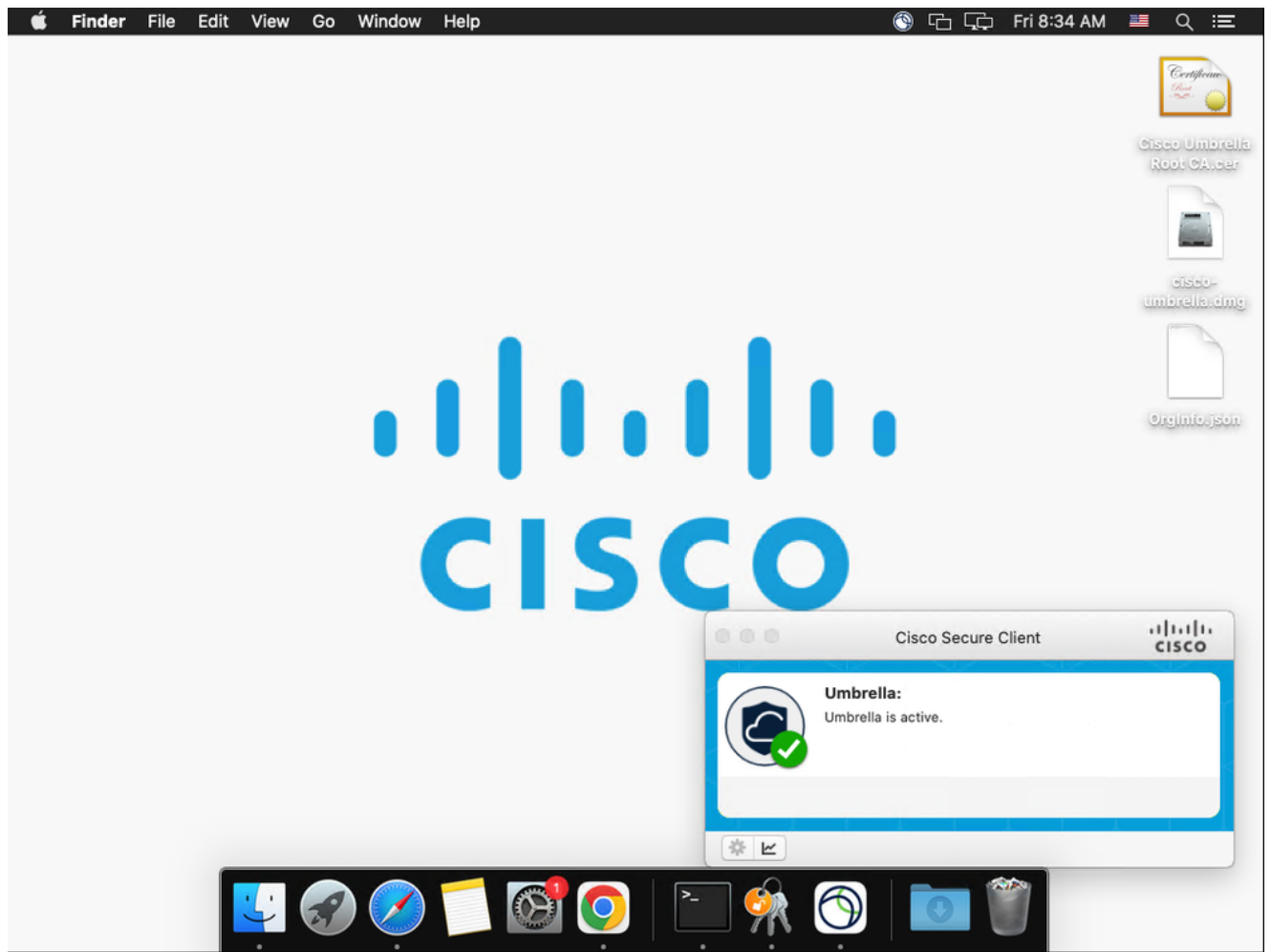
10774151059476

5. Umbrellaモジュールのインストールを続行します。



10774089484052

6. インストールが完了すると、Umbrellaモジュールだけが表示されます。



10822280968340



注:OrgInfo.jsonファイルを手動でコンピュータの/opt/cisco/secureclient/umbrellaにドロップすることもできます。

スクリプト形式のインストール

パッケージは、スクリプトまたはエンドポイント管理ソフトウェアを使用して自動的にインストールできます。ただし、パッケージを無人で実行すると、すべてのSecure Clientモジュールが既定でインストールされます。

添付ファイルのinstall_choices.xmlは、必要なコアVPNモジュールとUmbrellaモジュールのみをインストールするようにSecure Clientを設定します。

インストールされたモジュールを制御するには、インストーラ引数としてinstall_choices.xmlを指定します。

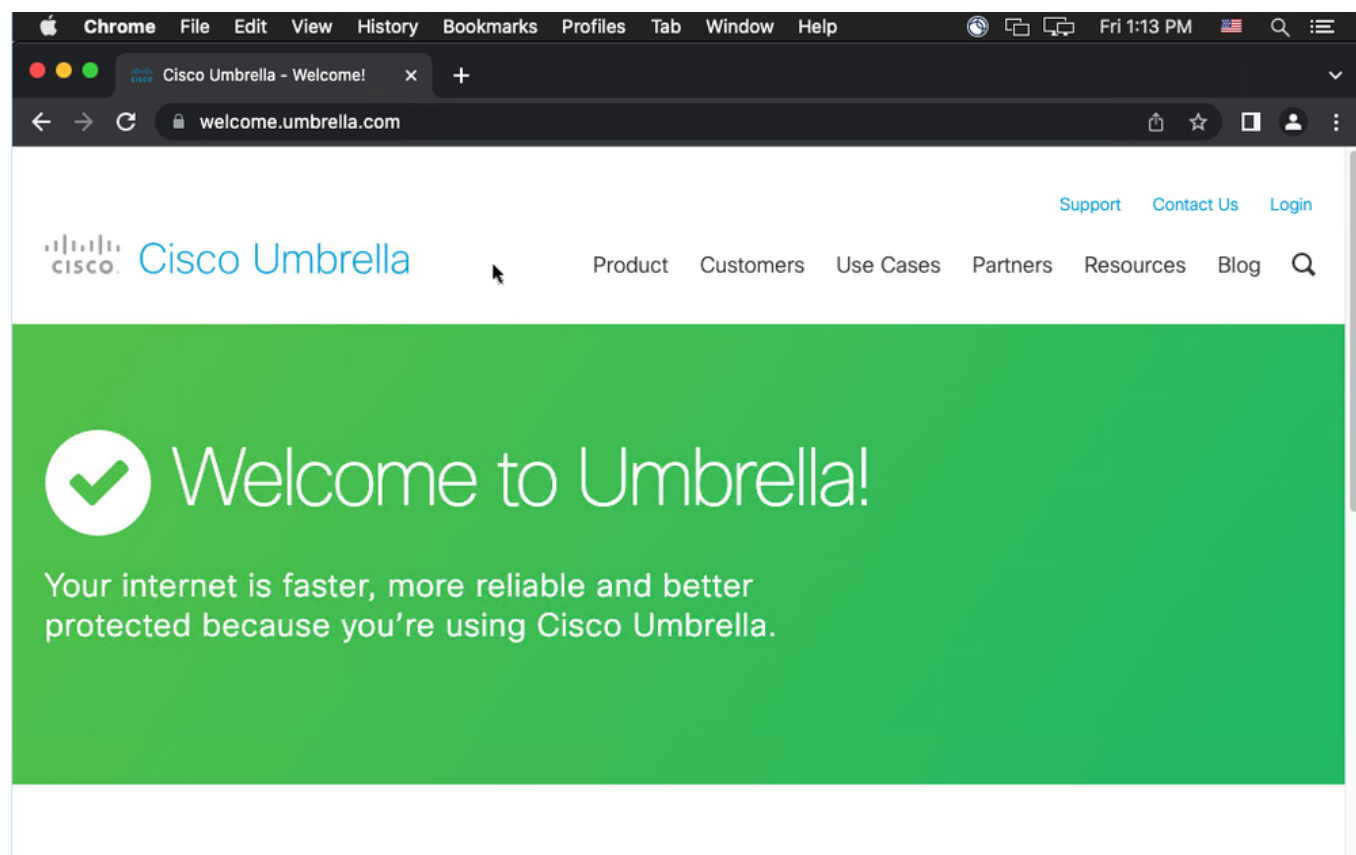
```
# Attach DMG
hdiutil attach ~/Downloads/csc-readable.dmg
```

```
# Run the installer with supplied install_choices.xmlsudo installer -pkg Cisco\ Secure\ Client\ <version>
```

詳細については、「セキュアクライアントのMacOSインストールのカスタマイズ」を参照してください。

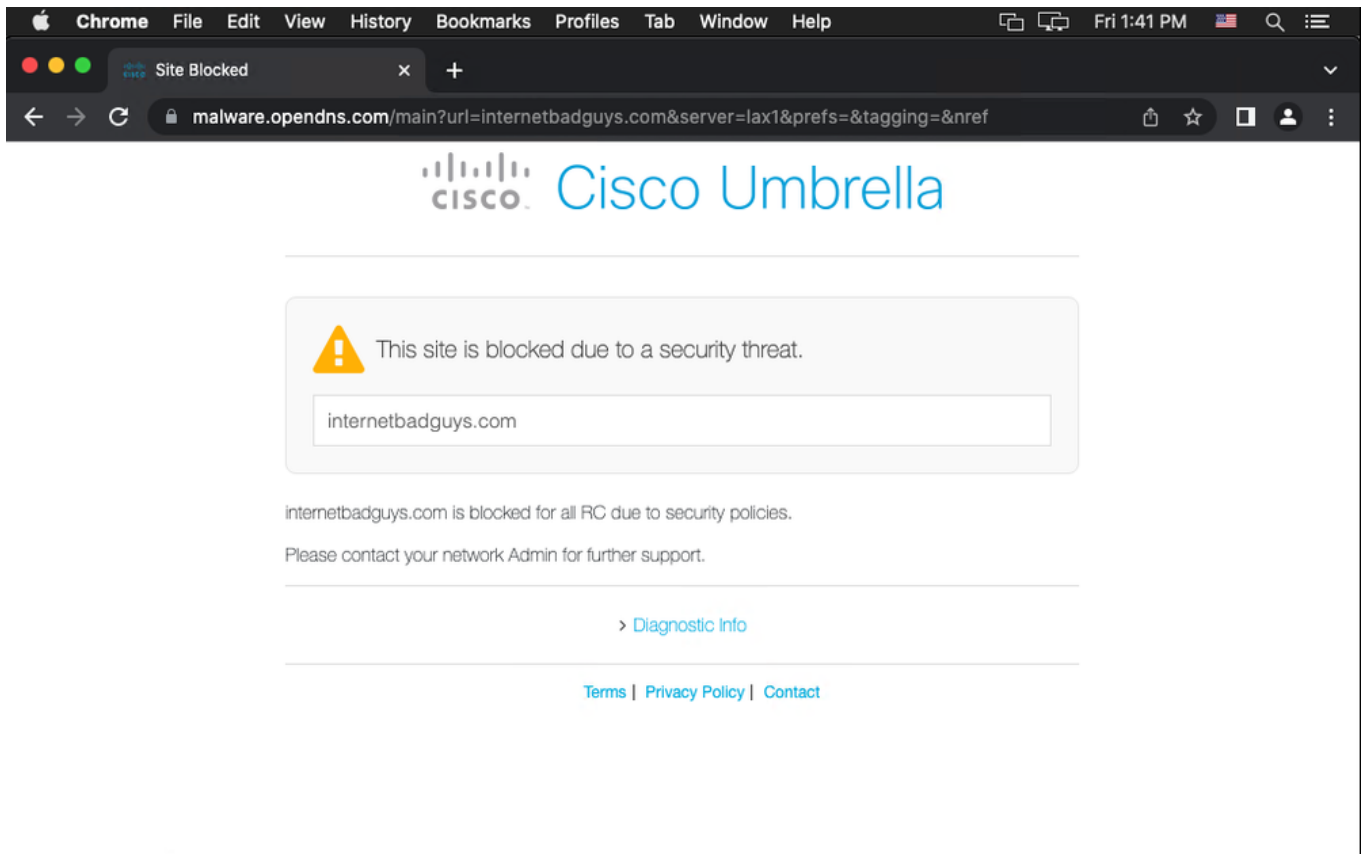
検証

- welcome.umbrella.comに移動して、保護されていることを確認します。



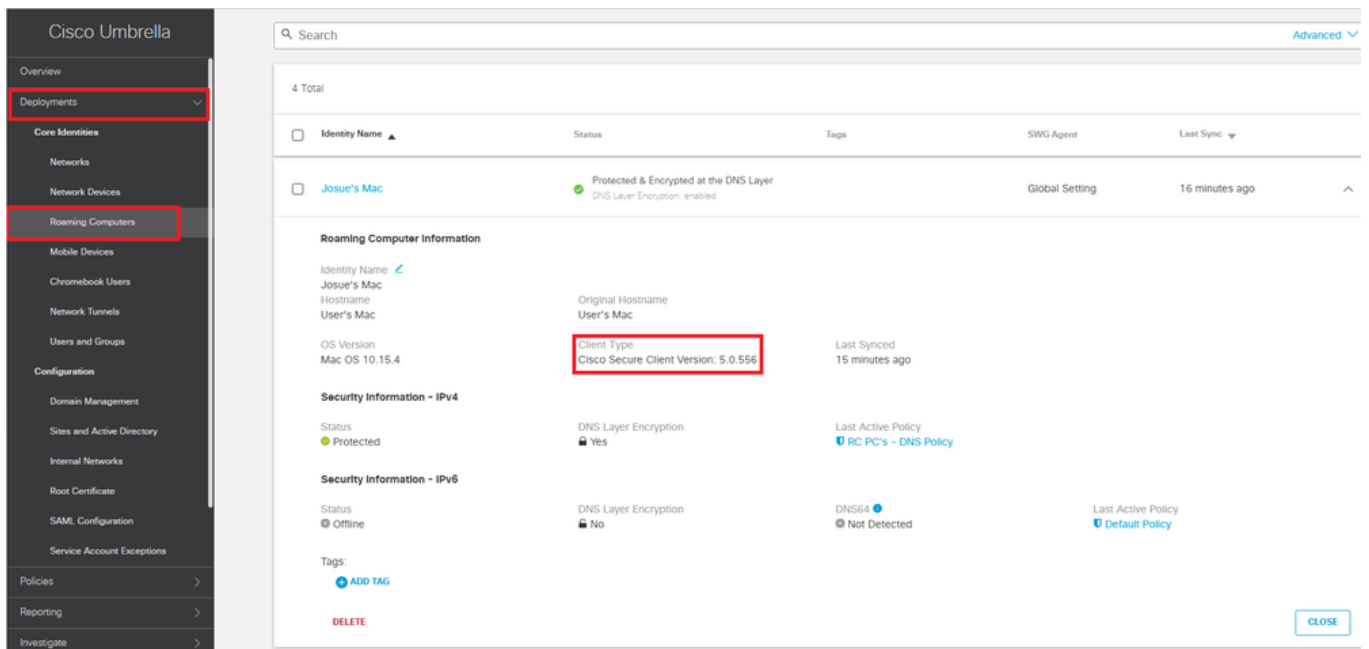
10822309479316

- 任意のまたは私たちのテスト先に行ってみて、あなたが傘によって保護されていることを確認してください。
-



10822354721428

- Umbrellaダッシュボードで、コンピューターがUmbrellaに正常に同期され、Roamingクライアントコンピューターとしてインポートされたことを確認できます。



10822355033236

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。